



はまっこ まんまる ねっと



こんにちは♪ 地域学校協働活動推進員(コーディネーター)です！

2学期が始まり約1か月が過ぎました。暑さも和らぐ日が多くなりましね。私は、運動会の練習の音楽が聞こえてくると秋だなと感じます。皆さんはいかがですか？

2学期は「校区に2か所の工事」が入り、子ども達はもちろん保護者の皆様にもご心配やご協力をお願いしました。特に、学校付近で小学生が横断歩道を渡る。そんな登下校の風景は40年以上ぶり。地域の皆様にも朝夕の生活道路が違って見えたと思います。ドキドキからのスタートでした。

最初の頃は、慣れないことも多く、自転車に気を付け限られた時間での横断や広がらずに歩くこともままならず、見守ってくださる地域の方との距離も感じられました。4日5日と続くうちに、子ども達はしっかりと理解し、地域の方と挨拶を交わし、信号待ちでお話をしたりもしています。暑い中、見守りに立ってくださる地域の皆様と子ども達が、気さくに声をかえあう場面にほっこり。

また、保護者の皆様のお顔も多く見受けられました。朝の忙しい時間に一緒に登校していただきながら、柔軟に対応して下さり本当に助かりました。

この大きな変化を温かく力強く支えてくださった皆様のおかげで、大きな事故もなく、日々気づいたことを学校や地域・保護者間で調整しながら、よりスムーズに新通学路への移行ができました。浜小校区のみんなの力だと思います。これからも、少しずつ、お力を分けてください。本当にありがとうございます。



👉「工夫してやってみたい！」その気持ちいいね、大好物！です👉

学校コーディネーターの役割。私は、子ども達の学びに地域のコンテンツをつなぐ、まち探検やキャリア教育・地域社会での学習のサポートもしています。

今年、先生方はどうされるだろう？お増していると「ご縁はつなぎながら、昨年とはちがう工夫をしてみたいのですが・・・」などの声。できないことも多い中、「一度は考えてみる」こと、その上でできいとしっかり判断したり、工夫でクリアしたり。考えることで既に進んでいる！なぜなら、この時間は、必ず次の展開やできるようになったときに生きるから。

そんな先生方がいっぱいいる職員室の空気。きっと子ども達が一番感じていると思います。そして、できない涙にも寄り添い、次へ背中を押してくださる日々に、感謝です。

さっちゃんの



ぼちぼち子育て雑記

それぞれの善意に

委ねてみる◎

With コロナ、3密対応や衛生管理が個々の日常になりつつありますね。

世の中にはとどまることを余儀なくされることも、躊躇することもある。

でも、子ども達の育ちは止むことがありませんね。

小さな頃「やーだー」と泣きわめいてものすごい勢いで拒否する子を、肩に抱き上げる勢いで、スーパーから逃げかえった日もありました。自分の要求があることは大切です。

今は「母はこう思ってる。ここまでは助けるけど、あとは自分で考えてみて」と、少し離れて待ってみるようにしています。

子どもなりに、自分で考えに考えたことは、案外ステキなことが多いのです。子どもそれぞれの善意を知る機会。そんな時は

「お！もっと母を超えて行け！」と私は思うのです。もちろん、それはあかんやろの時は、大人の交渉術発動

です(^_^A